

令和5年度第3回湖南省図書館協議会 会議録

開催日時 令和6年(2024年)2月17日(土) 午前10時15分～12時

開催場所 湖南省立甲西図書館 2階 視聴覚室

出席者 図書館協議会委員 10人

事務局6人

傍聴人 6人

1. 開会

[あいさつ]

2. 議事

(1) 図書館協議会県外視察をふりかえって(グループで意見交流)

(2) その他

事務局 それでは議事に入りたいと思います。議長よろしくお願いします。

議長 それでは事務局から議事1についての説明をお願いします。

事務局 先日nobinosに視察に行ってくださいましたが、その話は一旦置きます。私事ですが、自分の娘が先日甲西図書館に行くが高齢の方が大勢熱心に本を読まれていて、子連れなので子どもの声などが心配ですぐ帰りたくなった、という話をしていました。湖南省の70代以上の人口の割合が約20パーセント、図書館の利用者の70代以上の割合は27パーセントということで、高齢の方が来ていただいてありがたい。しかし公共施設なので、今後どの年代も来やすい甲西図書館にしていきたい。協議会の皆様がnobinosに行かれましたが、自分も後から見学し、夢を感じました。私の夢を見てほしいので、資料をお配りします。

今年、いろいろな図書館に行かせていただいた中で考えたのは、当市の図書館が目指すところは学びの場、繋がる場へということです。今、市民が図書館へ行く目的が本を借りること読むことにほぼ限られている。12月に自習スペースを少し拵えて、中学生の声を聞くと嬉しい、こういうのを待っていた、と。少し離れた場所からも自転車などで来ている、ということでした。

中津川の図書館に行ったときに、市民と行政が一緒になって図書館を考え、どうしていくのか十分情報を得られている、nobinosもそうですが、集う場である。そういうところを少しでも真似できればと考えました。

甲西図書館は立派な建物で、これを十分に活かすことが大事だと思います。そこで「湖南省立甲西図書館 ～C o . なんちゃってテラス化～」という事業に面白い名前を付けて一緒にやっていきたい、ご意見をいただきたいと思います。

まず、この視聴覚室です。ここを空けておくのはもったいないと思っています。そこで1階の児童書コーナーの園児や小学生向けの本をこちらに移して、シートを敷いて靴を脱いで子どもたちが集えるよう

な設えにできれば。

書架も、n o b i n o s は色を決めてカラフルにしているのを真似できれば。塗料を塗ったり寄贈いただいた書架にシールを貼ったりして、みんなでリニューアルしたよ、と。

次に1階の多目的会議室はおはなし会などに使用していますが、日当たりが大変に良く、赤ちゃんや幼児が寝そべったり走り回っても良い部屋にできないか。

2階展示コーナーには机といすを置いて自習スペースにすると、ガラス張りなので下を見ると良い風景ですし、1階からはよく様子が見えて「ああ勉強しているな」となります。ガラスケースは撤去して棚を作り、本の面置きを司書が行うということができないか。

1階の玄関に入ってすぐの右手の本は2階に上げて、空いたスペースに集会室の大きな円卓を置く。

1階の児童書を2階に上げ、空いたスペースは自習可の机を置くなど、今まで通り静かに本を読める。

2階は少し子どもの声がして自習スペースがたくさんあるような、そういうことができれば。

1階の応接室はソファではなく会議室の設えにする。

こういった大きな会議は図書館ではなく東庁舎で行う。

といったことを考えてみました。

今日皆さんにn o b i n o s について振り返っていただきますが、ただ「良かったな」ではいけない。私たちの甲西図書館をどうするのかということで、私の案をもとに話し合っていたきたい。

その前に部屋を見ていただけるとイメージがわきやすいと思います。

傍聴参加者も含め、約15分間 館内見学。

約30分間 グループ討議

各班発表

A班

・甲西図書館は従来の堅い雰囲気 of 図書館。カラフルさに欠けるから、もう少し色を出したほうがいいのではないか。たとえば子どもの絵を置く。「おはなしを絵にするコンクール」の入賞作品などを展示して、そこに関係する本を置くなど。

・n o b i n o s には隠れ場的な場所が点在し、子どもが本を持ち込んで寝転がって読むなどしていた。甲西図書館は「向き合う」「開かれた」感じなので、大人にとってはゆっくりできる、子どもも面白い場所としてすっぽり包まれる場所があれば魅力的。ハード的な物の作りで雰囲気を柔らかくして、誰でもが来たいなという場所づくり環境づくりをしていくのが良いのでは。

・花好きの市民が庭から花を持ってきて花の名前や花言葉を書いて館内に飾れば、それを見た学生が興味を持ち新しい世界が広がる、ということが起こるかもしれない。緑の管理が図書館スタッフにとって負担なら市民と一緒に図書館という場所を魅力的なものにしていったらいい。

・図書館は現在、本を借りる返す調べる読むということが目的になっているが、本を借りなくても一

日ゆっくりできる場所、お金がかからずに楽しくのんびりできる場所となれば人が集まるだろう。文化ホールと森北公園と図書館が近くに集まっているという立地を生かし、もう少し一体感のある繋がるような方向性に持っていければ。

- ・子どもに関してはどんな本に出合うかが人生を左右するので、50年60年読み継がれるような優れた本と子どもを出合わせる、専門性を持った司書を置いてほしい。人を集めるような魅力をつくる人材と、本の専門性を持った人材のバランスが大事。

B班

- ・建て替えはできなくても、n o b i n o s の良いところの数々は真似をしていきたい。例えば市の伝統色を全館に配置する等でカラフルさが出せる。

- ・湖南省には授乳室が少なすぎるし、図書館でも対面朗読室を使わせているがあれでは気が休まらない。子育てをみんなですていこうということになれば、そういった場所もしっかり作っていく必要がある。

- ・図書館友の会を作ってはどうか。図書館協議会だけでは人数も会議の時間も限られるので、友の会形式にして議論いただき、そこを中核にして様々な意見を吸い上げていく。また、その人たちが視察に行けばもっと幅の広い意見が出、幅の広い施設になるのでは。

- ・話をするためには予算枠を聞いておきたい。予算が無いなら他に協力を求めるなど、具体的に進めない意見と言うだけに終わる危惧がある。

- ・2階に本を移すより、1階の事務所を2階に移して、空いた使いやすい場所を利用する。

- ・蔵書約30万冊のうち半数が書庫だが、本をストックしておく必要はあるのか。早めに市民に譲渡するなどし、どうしても残す本は使わない部屋に入れるなどして書庫のスペースをワークショップなどに有効利用すればよい。図書館に来てもらう、賑わいの場を作るということをしたい。

- ・空きスペースにコンビニを入れる。キッチンカーに近くまで来てもらうのでもよい。市民が何か取り組んでも失敗したらまた一からになる。商業施設なら事前に調査するので失敗は無い。他業種を利用することも必要。

- ・教育長から様々な案が出されたが、予算の許す限りさっそく取り組みたい。ただ、大掛かりな工事をすると、一旦取り組んでうまくいかなくても戻せないなので、若干の場所の入れ替えで可能なものを早々に試しては。

C班

- ・甲西図書館は昔の図書館のイメージがあるので、n o b i n o s のように明るく開放的にしたい。皆が

くつろげるようにコーヒーが飲めると嬉しい。本を借りなくてもふらっと立ち寄れて、自由に居られるような配慮があれば。

・一人で家に籠っていても捗らないので、友達と静かに勉強できる自習室的なものがあればよい。他の人に刺激を受ける、自由性を持てれば。ただ同じ人がたむろしないように時間制限は必要。

・図書館を自己実現の場に。まちづくりセンター等も実現の場があるが、図書館に関係するものや、自分がしていることを図書館との絡みで発表していける場があれば。

・かつて図書館で開催していたコンサートを復活させるなど、イベントを増やす。図書館に関係することや、書道の賞を取った人が作品を飾る、小学校中学校などで本を読んで感じたことを作文や絵にして発表できる場に。家族・友だちから輪が広がって、本を借りなくても図書館に行ったら何か新しいイベントがある、発表の場であり吸収できる場ということをアピールする。

・市民ボランティアが図書館に入るのは良い。例えば花を名前や花言葉をつけて飾る。興味を持った人が調べる。ただ綺麗ではなくて、そこから広がる発展性もあればいい。

・n o b i n o sには様々な椅子が置かれ、自分の好きな椅子を見つけるという楽しみがあった。ここのそういう椅子を今後少しずつ増やしてもらえたら。

・空きスペースの復活利用、たとえば多目的会議室を開放し、カーテンも空けて、中の様子が魅力的にワクワク感を伴ってガラスの外から中が見えるようにする。カーテンで暗くするのは良くない。そういうちょっとした配慮で切り替わる。先ほど案の出た友の会などで市民の声を聞いて、イベントなどきっかけづくりを。

議長　ありがとうございました。

B班として一言言い忘れていたのは、石部図書館の問題を避けて通らず、協議会として今後について議論を進めることを議題として上げたいと思います。皆さんに熱心に議論していただいた意見は議事録としてまとめて後日ご覧いただけます。初めての試みで、傍聴の方にも議論に加わっていただければよかったと反省しています。次回以降の参考としたいと思います。

それでは議事2、館長よりブックスタートについてのお話をいただきます。

事務局　資料もお配りしましたが、ブックスタートとはこの地域に生まれた赤ちゃん一人一人に1冊本をお送りし、赤ちゃんのご家族が絵本を通して心触れ合うひとときを持っていただけるように、という事業です。

現在、図書館の司書とボランティアの方々にも協力いただいて、4カ月児健診でブックスタート事業をさせていただいています。ただ令和6年4月から4カ月児健診の進め方が変わり、健診時にブックスタート事業が行えなくなると聞いています。担当課も事業の意味はよくご存じですが、現在のやりかたは

令和6年3月までとなります。今後につきましては10カ月児健診時に絵本の引換券をお渡しし、図書館でお持ちいただいた保護者にブックスタート事業の説明を行い、絵本を1冊プレゼントするという、以前の方法に一旦は戻したいと考えています。

今後の進め方については再度検討いたします。今現在の状況を報告させていただきました。

議長 ブックスタートについてはいつも委員の方から熱心に言っているから、意見があればどうぞ。

委員 いろいろな経緯があり、この7月から健診でのブックスタートを再スタートできました。すると、図書館でチケットという方式では、1年間の猶予があるにも関わらず渡せた割合が50パーセントを切っていましたが、今はおよそ9割渡すことができています。私もブックスタートに行き、保護者に絵本のお話を少しすることができました。

これが元に戻ったと聞いて、湖南省は本当に子どものことをどう考えていらっしゃるのか、と。絵本に出会うチャンスというのは本当に大事で、興味のない人もその場でもらって、我が子に読んであげたら、まだ字も読めないのに一所懸命に見て、笑ったりしたら「うちの子天才？」なんて、絵本ってすごいと思うきっかけになるのがブックスタートです。お母さんお父さん自身が興味のない人でもそこで絵本に出会うということに意味があるのに、チケット制に戻すのですか。コロナの時期に湖南省に生まれた赤ちゃんで絵本に出会えなかった子が半数以上いるということを本当にもったいなく思っています。保健師さんがやり方が変わったからといって絵本との出会いの機会を排除するのは、もっと他に大事なことがあるのかもしれませんが、保健師さんと図書館の方でもう少し協議できないのでしょうか。

事務局 協議はいたしまして、もしかすると10カ月健診時に行えるかもしれないのですが、たちまちは引換券方式を考えています。4カ月健診でできなくなる代わりに10カ月健診でブックスタートを司書が継続的にできるか、現時点でははっきりわからないこともあり、10カ月健診で引換券を渡す方式に戻す考えで、保健師さんたちも決してブックスタートを排除しようとはされていないことをご理解ください。

議長 要するに、4カ月健診で行っていることを10カ月健診で同じようにプレゼントすればよいだけではないのですか。6カ月遅れますが。

委員 絵本はだいたい10か月くらいと言われています。「あ、あ」と指差しが始まったくらいから赤ちゃんは反応します。ただ出会いは早いほうがいいと思いますが、10カ月でも無くなるよりは。

議長 図書館から行って渡すだけなら保健師さんにも迷惑がかからないのでは。検討ではなく「やる」と言っていたきたい。

委員 ブックスタートに行ったときには、赤ちゃんのお母さんやお父さんたちとお話ができます。本の大切さを一言二言なりとも伝え、赤ちゃんのカードも作れるのでぜひ図書館にも足を運んでくださいね

と一言伝えると、何かの時に、赤ちゃんも本を読むんだな、ちょっと一回行ってみようかな、という気持ちになる、そのことが大変大事だと思います。赤ちゃんが私たちの説明を聞いてわかるわけではないので、お父さんお母さんが絵本の大切さをわかる場である、ということがブックスタートの前提で、スタートはなるべく早いほうが良い。以前から引換券方式だったならまだしも、コロナの時に仕方なく変えたわけで、それを戻すというのはどうかと思います。対面でお母さんとしての先輩のおばちゃんから一言あるのとないのとは違うというのが大事と思うので、またぜひご協議をいただけたらと。

議長 この件は図書館協議会が決めるのですか。図書館または市ですか。図書館協議会が決めるなら賛否を取って進めます。

事務局 これは図書館の事業で、館の人員体制もあり館長がいろいろ工夫したうえで現状このようにしかできないというご報告だったということをご理解ください。ただ図書館協議会でボランティアに関わってくださっているかたに意見を多くいただきましたので、従来の手渡しができるのかどうか、もう一度職員間で話し合いが必要かと感じます。

委員 以前も休館日と重なるので司書の方が来られないということがあったそうです。もし司書の方がどうしても来られないのであれば、ボランティアでも、とにかく渡したいという気持ちでいっぱい、事務的な理由でこんな大事なことが無くなるのであれば何とかしたいです。

議長 私たちの気持ちをお伝えしたので、検討よろしくお願いします。

では時間となりましたので、一旦事務局にお返しします。

事務局 皆さんありがとうございました。皆さんの思いをすべて入れて完璧なものにすることはできなくても、これからの図書館を作るために一歩踏み出したいと思います。先ほどの友の会といったお話も参考に、会長と相談しつつ、確実に進めていきたいです。

委員 最後に一言。石部の図書館について、図書館の個別施設計画には「今までにない施設のあり方で進めていくこととします」とあります。表の中には統廃合と書かれていますが、文章ではそういう表記です。ですので協議会でそのあたりを詰めて協議していただきたい、とグループ討議でお話ししました。入ってくる情報も少なく、どう整理してよいかわからない状況になっていますので、図書館が1つ無くなるということを課題として協議に取り上げて下さるようお願いします。

委員 湖南省の図書館が一つだけになるということ、また話が変わりました、ということを知らない人が大勢います。もっとオープンに図書館がこうなっている、変わっていつている、という状況を知らせるものが活字などであればと思います。

また、協議会の傍聴を、自分は近所の方に誘うのですが、現在制限しているのですか。そうでないなら、傍聴できることを張り紙や湖南だよりに書いていますか。

事務局 図書館内にポスターを掲示し、ホームページと図書館だよりで広報しています。

委員 気づかず申し訳ありません。そのようなことを大きく訴える、またボランティアの募集などすることで、皆さんに図書館に縁を持つ気持ちになってもらえたらと思います。

3. 閉会

[あいさつ]